

1/18 3.7.7

奈良 医療費18歳まで無料化

党県委が調査

奈良県では多くの市町村で4月から子ども医療費助成制度の対象が18歳・高校卒業まで引き上げられ、子ども医療費の無料化が大きく前進、85%の自治体で実施されることが分かりました。

日本共産党県議会が独自に調査したところ

4月から大きく前進

る、県内39市町村中、23市町村で4月から同制度の対象を現在の15歳までから18歳・高校卒業まで引き上げることを決めたことが分かりました。すでに10市町村では18歳・高校卒業まで（山添村は20歳まで）実施されており、残りの町村でも4月や8月からの実施に向けて準備、検討され

85%の市町村実施へ

多くは、毎回500円～1000円の一部負担金があり、いわゆる窓口で払う「自動償還払い」方式です。奈良市は6月から中学卒業まで窓口払い無しの現物給付方式になります。生駒市は未就学児についても4月から一部負担金を廃止し、「完全無料化」します。

県は、県の制度としで2024年4月から対象を18歳・高校卒業

てもらお。

までに引き上げるよう

準備を進めてこます。

日本共産党奈良県議団は昨年12月議会で

つたん窓口で払う「自動償還払い」方式です。奈良市は6月から中学卒業まで窓口払い無しの現物給付方式になります。生駒市は未就

学児についても4月から一部負担金を廃止し、完全無料化」と主張し、子ども医療費助成制度の現物給付化と対象年齢の引き上げを求めていました。

性、医療団体などとともに要求し、各議会で取り上げてきた成果です。